

21日 衆院解散

17年4月消費税10%

首相「再延期せず」

来月14日投開票



記者会見で消費増税の延期と衆院解散を表明する安倍晋三首相
 首相官邸で18日午後7時4分、小関勉撮影

安倍晋三首相は18日夜、首相官邸で記者会見し、来年10月に予定していた消費税率10%への引き上げを2017年4月に1年半先送りし、衆院を21日に解散する意向を表明した。首相は消費増税の再延期はしないと明言。衆院選は「12月2日公示―14日投開票」の日程で行われる。7-9月期の国内総生産(GDP)速報値は年率換算1・6%減と2四半期連続のマイナス成長に沈んでおり、選挙戦では安倍政権の経済政策「アベノミクス」の是非が最大の争点となる。【菅田直樹】

首相は会見で、GDP速報値について「残念ながら成長軌道には戻っていない」と景気の腰折れへの懸念を示した上で「消費税率を来年10月から引き上げることは個人消費を再び押し下げ、デフレ脱却も危うくなる」と判断したと先送りの理由を説明した。首相は17年4月の引き上げは「景気条項を付さず、確実に実施する」と強調。軽減税率について「自公両党間でしっかり検討させていく」と述べた。また来年1月召集の通常国会で、経済対策を含めた14年度補正予算案を提出することにも、20年度の財政健全化目標の達成に向け、来夏までに具体的な計画を策定する考えを示した。

衆院解散を決定した理由については「国民生活、国民経済にとって重い重い決断をする以上、速やかに国民に償を問うべきだと決心した」と説明した。衆院選は自公両党が民主党から政権を奪還した12年12月以来、小選挙区の「1票の格差」を是正する「0増5減」が実施され、小選挙区295議席、比例代表180議席で争われる。首相は勝敗ラインについて「自公連立与党で過半数を得られなければアベノミクスが否定されたということになるわけだから、私は退陣する」と述べ、自民、公明両党で過半数の議席を獲得できなければ退陣する考えを示した。野党は、消費増税先送りについて「アベノミクスの失敗だ」などと攻勢を強め、各党間の連携を模索している。

衆院解散 総選挙

来月2日公示 14日投開票

衆院は21日午後の本会議で解散された。政府は続く臨時閣議で「12月2日公示・14日投開票」の衆院選日程を決め、事実上の選挙戦が始まった。衆院選は自民党が政権を奪還した2012年12月以来で、最大の争点は経済政策「アベノミクス」の評価となる見通しだ。安倍首相は第2次内閣発足から2年間の成果を掲げ、国民の審判を仰ぐ。

首相は21日夕、首相官邸で記者会見し、「アベノミクス解散だ。アベノミクスを前に進めるか、それとも止めてしまおうのか、それを問う選挙だ」と訴えた。円高是正などの成果を強調した上で、「まだまだ厳しい地方経済に景気回復の暖かい風を送り届けてこそ、アベノミクスは完成する。この道しかない」と述べた。

来年10月の消費税率10%への引き上げを17年4月に先送りする考えを改めて表明した。公明党の山口代表は解散後の両院議員団会議で「連立政権が進めてきた経済再

明し、「(先送りに)野党生デフレ脱却をしっかりと同意しているから選挙の争点ではないとの声がある。野党はいつか10%へ引き上げるのか、時期を明確にしない」と指摘した。景況次第で消費増税を見送る「景気条項」の削除に関しては、「景気判断による(増税の)再延期は行わない。これは明確だと断言した。

一方、野党側は、実質賃金の低下や円安による物価上昇を指摘し、「アベノミクスは失敗だった」と批判を強めている。



衆院が解散され、万歳をする議員たち(21日午後1時14分、国会で)＝小林武仁撮影

11月23日 中日新聞

悪質選挙違反 厳正に検挙を 県警取締本部設置

衆院選に伴い、県警は二十二日、選挙違反取締本部を県警本部と県内十一署に設置した。

野村護本部長以下千百人体制で警戒に当たる。県警本部では、捜査二課の入り口に取締本部の看板を掲げた。二十一日現在で文書掲

示違反の警告が一件あったという。担当者は「悪質な違反は投票日前でも厳正に検挙する」と話した。(大山弘)



選挙違反取締本部の看板を掲げる捜査員ら＝県警本部で

衆院選の公示、投票開票に向けて慌ただしく準備を進める県選管の職員＝23日、県庁（中野克規撮影）



県選管が準備する印刷物は、全部で約150種類。投票用紙は小選挙区、比例代表、最高裁判官の国民審査用をそれぞれ約68万枚用意する。封筒にのり付けが必要で不在者投票用は、時間がかかるためギリギリの作業日程になっているという。

今回の衆院選は0増5減による選挙区の区割り変更を周知する仕事もある。ヒラや選

公正な選挙向け
県警が署長会議
衆院の選挙日程が決まったことを受け県警は23日、警察署長会議を開いた。県警幹部と各署長の72人が出席。野村護本部長が「悪質な違反は徹底的に取り締まるなど、選挙の公正を確保したい」と訓示した。

野村本部長は「厳正公平な違反取り締まりの徹底」「選挙運動の自由の確保と適正捜査の推進」「要人警護と警戒準備の万全」について訓示した。

この後、刑事、生活安全、警備など各部長と捜査2課長が、署一丸での取り締まり、厳密で適正な捜査、情報収集などを指示した。

（佐々木哲也）

県内選管 大わらわ

来月14日投票開票

印刷物、投票所、人員配置… 職員連休返上で準備

12月2日公示、同14日投票開票の衆院選に向け、県と市町の選挙管理委員会は3連休返上で準備作業を進めている。解散から投票開票日までわずか23日間という超短期決戦。投票用紙の印刷や選挙ポスター掲示場の場所確保、投票作業に充てる人員の手配など「任期満了の選挙ならば、2カ月かけてやる作業」（県選管）を急ピッチで進めており、各選挙事務局は候補予定者の陣営に引き取らない「野戦」になっている。

（高島健）

2014 衆院選 ふくい

「解散・総選挙が有力視されておき、直ちに選挙準備に入らなければならない」。県選管に各都道府県選管の連合会から緊急情報が入ったのは11月12日。印刷物の下準備を業者と始め、同18日の安倍晋三首相の解散会見を受けて本格的な作業に入った。

選挙公報、街頭啓発などでPRする予定だ。3連休中日の23日は職員6人が休日返上で作業に当たった。24日に市町選管との打ち合わせ会議があるため、大量の資料作成で忙し。その後、各選挙区説明会が控えており「一日によつてはダブル」と覚悟を決めている。

「ヘッダー」もある異例なスケジュール。準備は深夜に及ぶため、事務局の隅にはインスタントラーメンや栄養ドリンクが箱詰めして用意されている。

有権者数が最も多い福井市選管は、投票所となる学校、体育館、公民館など106カ所の確保が終わったところ。それぞれにイベントや会議などの予約が入っていたが、主催者側と交渉して空けてもらった。地域の祭りや集落センターが使えず、急ぎで別の会場を確保したところもある。

ほかにも「選挙ポスター掲示場の設置場所が工事中だった」「いつも投票所の事務をお願いしている地域の方に予定が入っていた」など、突然の選挙で予定通りに進まないことが多く、ミスが許されない選挙業務だけに、市選管事務局の谷口雅章副課長は「投票開票日まで帰宅は連日午前1時すぎになりそう」と覚悟を決めている。

11月26日 福井新聞

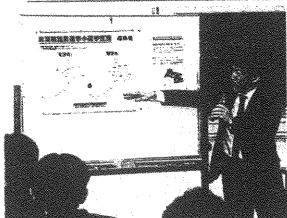
11月25日 福井新聞

新選挙区周知徹底を 福井県、市町選管が会議

福井県、市町選管が会議

14 衆院選 ふくい

来月2日公示、同14日投票開票の衆院選に向け、県選管と市町選管の合同会議が24日、県庁で開かれた。写真、出席した担当者約40人は、選挙区の区割り変更を周知徹底することを確認し、円滑で公正な作業へ気を引き締めた。



県選管の北川稔委員長が「本県の小選挙区が3から2に改定されて初の総選挙。あらゆる機会をとらえ新選挙区の周知をしてほしい」とあいさつ。また昨夏の参院選開票作業をめぐる高松市選管の不正開票事件に触れ「あらためて選挙の公正確保という原点に立ち返り、厳正な選挙管理執行、選挙の信頼確保に全力を尽くしてほしいと呼び掛けた。県選管の担当者は、各市町への投票用紙の発送などのスケジュールについて説明。期日前投票について、小選挙区と比例区は12月3日から、最高裁判官国民審査は同7日からで、それぞれ開始時期が異なることを周知するよう求めた。

（野田勉）

よろず相談所開設 有権者、陣営から受け付け



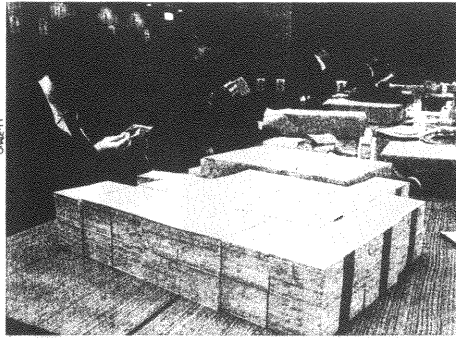
来月2日公示、14日投票開票の日、選挙運動や投票に関するの衆院選に向け県選管は25日、相談を受け付ける「選挙よろず相談所」を県庁内に開設した。

県選管の北川稔委員長が「有権者や候補者陣営からの問い合わせに電話や面談で応じる。県選管には、既に県内選挙区の区割り変更について有権者から『この選挙区に入るのか』といった質問が数件ある」という。相談所は2012年の前回選挙で28日間開設し、1289件の相談があった。

県選管の北川稔委員長が「有権者や候補者陣営からの問い合わせに電話や面談で応じる。県選管には、既に県内選挙区の区割り変更について有権者から『この選挙区に入るのか』といった質問が数件ある」という。相談所は2012年の前回選挙で28日間開設し、1289件の相談があった。

「ず相談所」を県庁内に開設した。職員4人が常駐し、有権者や候補者陣営からの問い合わせに電話や面談で応じる。県選管には、既に県内選挙区の区割り変更について有権者から「この選挙区に入るのか」といった質問が数件あるという。相談所は2012年の前回選挙で28日間開設し、1289件の相談があった。県選管の北川稔委員長が「有権者や候補者陣営からの問い合わせに電話や面談で応じる。県選管には、既に県内選挙区の区割り変更について有権者から『この選挙区に入るのか』といった質問が数件ある」という。相談所は2012年の前回選挙で28日間開設し、1289件の相談があった。

選管、準備急ピッチ 投票用紙の梱包作業開始



投票用紙などの梱包作業を行う県職員＝県庁

衆院選
2014

12月2日公示、同14日投票の衆院選に向け、県や市町の選挙管理委員会が準備作業を急ピッチで進めている。県選管は26日、市町に発送する投票用紙などの

梱包作業を通常の倍の人数を動員して開始した。一方、福井市選管は選挙用ボスター掲示板的設置を開始。設置予定は公示日の前日、ぎりぎりまでに間に合うという。

県選管は県庁地下1階の

正庁で、投票用紙（選挙区、比例代表各68万1千枚）をはじめ、投票用封筒、各種証明書など87種類・約156万枚を、17市町に分けて段ボール箱（約140箱）に詰める梱包作業に入った。「通常は4日かかる作業だが、今回は2日間で行う」（担当者）ことから、職員を増強させて約10人で進めている。投票用紙は薄いピンク色が選挙区、水色が比例代表で、職員らが枚数を確認しながら箱に詰め込んだ。28日に各市町に発送する。

正庁で、投票用紙（選挙区、比例代表各68万1千枚）散らかったため直前になった。設置業者にも無理がかかっていると思う」と話していた。

11月27日 福井新聞

11月28日 日刊県民福井

衆院選公示を前に設置されたポスター掲示板
＝26日、福井市役所前



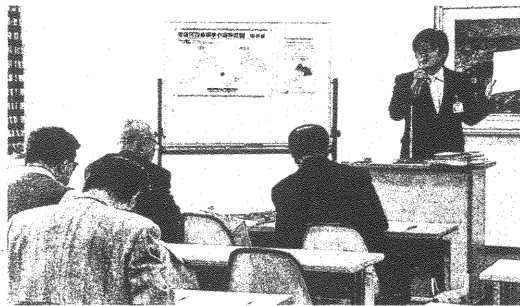
掲示板 県内2900カ所に

設置作業が本格化

衆院選の公示を2日に控え、県内各地で立候補者ボスター掲示板的設置が本格的に始まった。各市町の選管が1日までに県内の2900カ所に設置する。

福井市選管は26日に作業を開始した。同市役所前では委託を受けた業者の作業員2人が午前10時すぎから20分ほどかけ、正面玄関の横に縦約90センチ、横約2・3メートルの掲示板を取り付けた。同選管は「1人でも多くの人に投票所に足を運んでほしい」と呼び掛けている。

掲示板には、福井1、2区とも候補者8人分のスペースが設けられている。



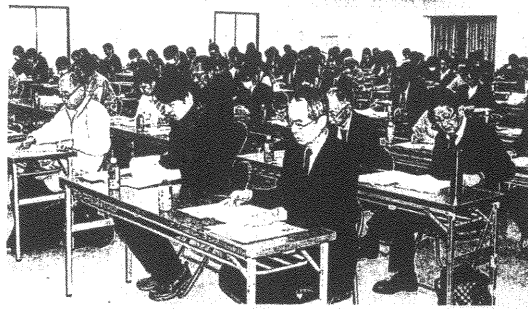
6陣営が参加 立候補予定者説明会

十二月二日公示、十四日投票の衆院選の立候補予定者説明会

定者説明会が二十六日、県庁であり、県内小選挙区への出馬を表明している六陣営が参加した。

県選管の池田禎孝書記長が新しい区割りになることや準備期間が短いことに触れ「手続きを円滑に進め、ルールを順守して選挙運動を」とあいさつした。

県選管の職員が立候補届け出の手続きや政見放送の取り扱い、選挙運動用自動車の基準など選挙運動上の注意点を説明した「写真」。



不在者投票 適正に

県選管、指定施設へ説明

衆院選と最高裁判官の国民審査の前に、県選管は27日、不在者投票施設に指定されている病院や福祉施設を対象に

した説明会を、福井市の県産業会館で開いた。選挙区の区割り変更など注意事項を確認し、公正で適正な事務処理を求めた。写真。

不在者投票は、衆院選が3日から、最高裁判官国民審査が7日から、どちらも13日まで施設内に投票記載所を設けて実施される。県内では164カ所が不在者投票施設に指定されている。

各施設の事務担当者ら122人が出席した。県選管の担当者が、区割り変更を選挙人に説明することや、比例代表の投票用紙には候補者名ではなく政党名を記入することなど注意点を説明した。

過去に県内で起きた不在者投票の投票偽造を例に挙げ「代理投票の場合、本人の意思確認を徹底するように」と厳正な投票の管理、執行を呼び掛けた。

投票用紙など17市町に発送 県選管

県選挙管理委員会は28日、衆院選（12月2日公示、14日投票）の投票用紙などを17市町の選挙区に発送した。投票用紙は12月3

日に始まる期日前投票から使われる。選挙区、比例代表の投票用紙や不在者投票用封筒など87種類約156万枚。28日午前8時半から県庁前で職員約20人が131箱の段ボール箱をトラック3台に積み込み、同日各市町に届けた。

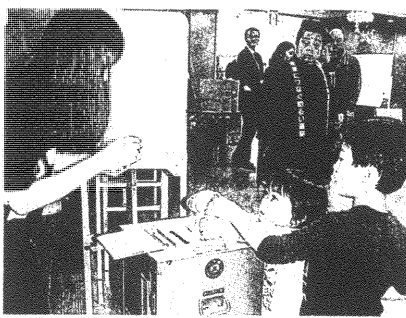


投票用紙などが入った段ボール箱をトラックに積み込む県職員ら。県庁前

模擬投票など通し 衆院選参加を啓発

坂井で県選管など

12月14日の衆院選投票日を控え、県選管と県明るい選挙推進協議会は29日、坂井市の県児童科学館で、明るい選挙推進キャンペーンを展開。来館者に投票参加などを呼び掛



けた。

県選管や県内各市町から約70人が参加。来館者に衆院選の投票日や投票時間、選挙区の新しい区割り、期日前投票について書かれた啓発チラシ約500枚を配布した。

また「城丸くん」（坂井市）や「湯巡権三」（あわら市）、「朝倉ゆめまる」（福井市）

など県内のゆるキャラを候補者に見立て模擬投票体験を実施。実際の選挙で使われる記載台や投票箱で、親子らがお気に入りのゆるキャラに1票を投じていた。写真。

館内では12月7日まで、明るい選挙啓発ポスター入賞作品展が開かれている。

4衆院選

県選管 受け付けリハ

きょう公示 本番待つ2選挙区6氏

衆院選の公示(2日)を前に、県選管は1日、立候補受け付けのリハーサルを行い、入念に手順を確認した。1票の格差を是正する「0増5減」で今回から選挙区が一つ減った県内の2選挙区では、自民の前議員2人、民主、維新の新人各1人、共産の新人2人の計6人が県選管の事前審査を終え、12日間の選挙戦の前に前哨戦を繰り広げている。

(村上和史)



リハーサルで「七つ道具」の交付手順などを確認する県選管職員ら(県庁で)

県庁内で行われたリハ―選挙別に受付を設け、立つ道具」の交付手順など。1サルでは、二つの選挙 候補に必要な書類の審査を 区に各2陣営が立候補す 方法や、看板や運動員の ると仮定。職員25人が、選 腕章といった選挙の「七

担当者は「準備は万端。 当日は、迅速に手続きがで きるようにしたい」と意気 込んでいた。

一方、福井市選管はこの 日、衆院選への市民の関心 を高めるため、明るい選挙 推進協議会のマス・スコットキ ャクター「めいすいくん」 が描かれた横断幕(縦2m、 横10m)を市役所4階のベ ランダに掲げた。さらに市 役所前と、市内8か所の期 日前投票所にのぼり計42本 を並べた。

だが、急な解散で準備が 間に合わず、国政選挙のた びに市役所前に設ける啓発

塔の設置は見送った。市選 管は「準備は万端」として いる部分もあるが、横断幕 などを見て、あらゆる世代 の有権者に投票してもらい

たい」としている。

県選管によると、現行の 小選挙区比例代表並立制が 導入された1996年以降の 県内の衆院選小選挙区選 の投票率は、69.7%(19 96年)、69.73%(2000 年)、64.81%(03年)、71.68 %(05年)、74.11%(09年)と 推移し、前回選(12年)は最 低の61.75%だった。

県選管の北川稔委員長 は区割りの変更に注意を 呼びかけることも、「有

権者の皆様は、総選挙で 初めて可能となったイン ターネットによる選挙運 動等を通じて、候補者の 人柄や政党の政策を見極 め、日本の将来を託するに ふさわしい候補者及び政党 に貴重な1票を投じられる よう切望する」との談話を 出した。

小選挙区の立候補届け出 は2日午前8時30分午後 5時。県庁地下1階の正庁 で受け付ける。

12月2日 朝日新聞

有権者数64万6773人

県選挙管理委員会が、1 日現在の選挙人名簿登録者 数を発表した。県全体は 増5減」に伴って県内の小

計64万6773人で、前回 衆院選の選挙人名簿登録者 数(2012年12月3日時 点)と比べて4625人減 となった。今回の衆院選は「0 54人で約11万2千人の差 となった。

(坂本結也)

選挙人名簿登録者数

(1日現在、県選管発表)

		男性	女性	計
【1 区】				
福井市	市	102,600	112,380	214,980
大野市	市	13,862	15,509	29,371
勝山市	市	9,919	10,924	20,843
あわら市	市	11,407	12,961	24,368
坂井市	市	35,565	38,642	74,207
吉田郡	郡			
永平寺町	町	7,478	8,172	15,650
1 区 計		180,831	198,588	379,419
【2 区】				
敦賀市	市	26,532	27,862	54,394
小浜市	市	12,021	12,881	24,902
鯖江市	市	26,134	28,141	54,275
越前市	市	31,801	33,938	65,739
今立郡	郡			
池田町	町	1,227	1,341	2,568
南条町	町			
南越前町	町	4,425	4,914	9,339
丹生郡	郡			
越前町	町	9,038	9,849	18,887
三方町	町			
美浜町	町	4,151	4,437	8,588
大飯郡	郡			
高浜町	町	4,341	4,389	8,730
おおい町	町	3,391	3,512	6,903
三方上中郡	郡			
若狭町	町	6,249	6,780	13,029
2 区 計		129,310	138,044	267,354
県 計		310,141	336,632	646,773

※在外選挙人名簿分は除く

ネット選挙も競い合い

選挙区の候補表示／SNS情報一覽で

与野党は2日の衆院選公示を受けて、インターネットを使った選挙運動も競い合う。自民党は候補がネットに発信した情報を一覽できるサイトを新設し、民主党は有権者が自身の選挙区の候補を素早く検索できる仕組みをつけた。衆院解散から14日の投票日まで3週間あまりの短期決戦で、有権者に候補や公約を素早くわかりやすく伝える利便性を追求している。

有権者に分かりやすく

ネット選挙は昨年4月に解禁され、衆院選としては今回が初めてだ。各党は「話題先行で手探りだった」（野党幹部）という昨年7月の参院選を教訓にして臨む。2日前午前0時から与野党両首が動画配信サイトでそれぞれ、の訴えを公開するなど、時間や場所の制約を受けずにネットで発信する傾向も強まっている。「仙台駅前の街頭演説にわが党屈指の論客が集結しました」。自民党の特設サイトは2日、安倍晋三首相（自民党総裁）が投稿したフェイスブックの内容を他候補のネット情報と並べて掲載した。有権者はリアルタイムで自民候補の最新情報を一覽できる。いちいち検索せずに済む。

民主党はスマホからサイトに入ると、有権者が住む地域の候補が自動的に表示されるようにした。スマホが発する位置情報を生かした仕組みだ。候補のメッセージや顔写真を打ち出し有権者に訴えかける。若者世代が政治に関心をもち、投票率が増えるなどの効果が期待される。中傷などを防ぐため投稿者のメールアドレス表示などが義務付けられている。

主な政党のネット戦略	
自民	各候補がSNSで発信した最新情報を党のサイトに新設
民主	有権者がスマホで自分のサイトの住む地域の候補を自動検索できる
維新	橋下徹共同代表が自身候補のツイッターを順次公開
共産	「ゆせ」の悪役を分かつき、選挙権の問題を分かりやすく解説

不足で党本部の広報体制が十分に整わなかった」といふ事情を「一気に克服したい考えた。次世代の党や新党改革も交流サイト（SNS）などで演説会の情報を流し、支持や動員の拡大をめざす。ネットの情報を一気に広める波及力を活用するのは公明党だ。たくさんの人にひろめるために、もう「ひとしお」を」。党のサイトに軽減税率への支持を求めるボタンを設置。これを押せばスマホ向け無料通話アプリ「LINE（ライン）」などで友人に同サイトを「拡散」できる。共産党のサイトは「ゆるキャラ」をもじったフルキャラが登場。サイトの中で原発

再稼働やブラック企業を象徴するキャラがやり込められる。公約の理解を深める効果を期待する。生活の党はボランティアが撮影した街頭演説の動画をサイトに掲載。手作りの「感」を出して有権者の一体感を高める。社

できることは候補と有権者で異なる

	候補者	有権者
ホームページやSNSなどでの投票呼びかけ	○	○
電子メールでの投票呼びかけ	○	×
選挙運動用のビラやポスターを添付したメールの送信	○	×
サイト上やメールに添付されたビラやポスターを印刷して配る	×	×



携帯端末を手に演説を聞く女性（2日、横浜市）

12月3日 日刊県民福井



「七つ道具」受け取る

県庁 関係者が手続き

衆院選公示を受け、県内小選挙区の立候補届け出受け付けが2日、県庁正庁で行われ、各陣営の関係者が手続きした。

会場には、各選挙区ごとに受付場所が設けられ、午前八時半から受け付けを開始。県選管職員らが代理人から届け出の書類を受

きょうから

期日前投票

衆院選の期日前投票と不在者投票が三日から始まる。県内での投票場所は、各市町の役場や支所など計四十カ所。投票票は前日の十三日まで実施する。最高裁判所裁判官の国民審査の期日前投票は七日から十三日まで。受付時間はいずれも午前八時半から午後八時まで。

県選管によると、前回の二〇一二年十二月の衆院選（小選挙区）では、有権者数の11.75%に当たる七万六千三百七十七人が期日前投票を利用し、不在者投票をしたのは0.5%に当たる三千二百七十五人だった。

期日前投票始まる 県内40カ所

衆院選の期日前投票が3日、県内40カ所で始まった。投票開票前日の13日までの午前8時半～午後8時。県選管によると、2012年の衆院選の期日前投票者数は7万6307人で、全有権者の11.75%だった。

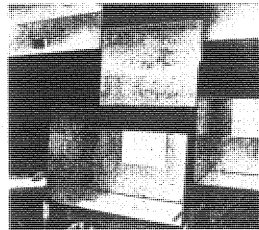
衆院選と同時に実施される最高裁判所裁判官国民審査は、7日から期日前投票ができる。6日までの場合は複数回投票に行く必要があり、県選管は注意を呼びかけている。
(坂本純也)

「リラックスして投票を」 鯖江市役所

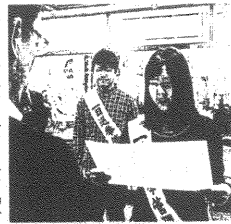
鯖江市役所に設けられた期日前投票所では、180台の大型スクリーンで海辺や風に揺れる木々などの自然風景を映し、波の音や歌詞のない環境音楽を流している。

市民から「投票所が堅苦しい」と指摘され、今回の衆院選で初めて実施した。県内でも珍しい取り組みだという。クリスマスカラーのポインセチアの鉢植えも飾った。市選管の幹部利宣書

記長は「忙しい中で来られた市民の方に、ゆったりとした雰囲気の中で投票してほしい」と話した。(渡邉孝子)

選挙ルール順守
大学生4人訴え

一日選管委員、各陣営で



立大3年生の男女4人を「二日選挙管理委員会」に委嘱した。4人は早速、2班に分かれて2小選挙区の全6陣営を回り、選挙ルールの順守を呼び

14日投票開票の衆院選に向けて明るくきれいな選挙を推進しようと、県選管は3日、県

掛けた写真。県庁で行われた委嘱式で、県選管の北川総務部長が一人ずつ委嘱状を手渡した。このうち1区は、同大経済学部の唐崎帆加さん(20)と野坂健太郎さん(同)が担当。選挙事務所で唐崎さんは「ルールを守ったきれいな選挙を心掛け、有権者の信頼と期待に応えてください」と要請書を読み上げ、選挙対策本部の責任者に渡した。野坂さんは「がんばってください」と明るい選挙のシンボルである白バラを贈った。

ライブ合わせ投票啓発

鯖江CEPTなど若者向け



衆院選の投票を呼びかけるチラシを使い抽てカイトを配る参加者ら＝4日夜、鯖江市文化センター

大学生を中心に選挙啓発などに取り組む「県明るい選挙推進青年活動隊(CEPT)」などは4日、人気ロックバンドのコンサートが行われた鯖江市文化センターで、14日投票開票の衆院選の投票を来場者に呼びかけた。

若者の投票率向上を図ろうと、会場入り口で「選挙に行こう」と書いたのぼり旗を立てて啓発活動を行った。CEPTメンバーと、友人の大学生、県選管の職員計7人が参

加しチラシを配った。

チラシには、0増5減により定数が減って3区から2区に変わった本県選挙区の地図も入っている。投票日などを書いたシールを張った使い捨てカイトも用意した。

来場者はほとんどが20～30代。参加者は続々と訪れる若者らに「14日は投票日ですよ」と優しくお話しし、「大きな声で呼びかけていた。

裁判官国民審査
投票用紙を発送

市町選管に

県選管は5日、衆院選と同時に実施される最高裁判所裁判官国民審査の投票用紙や掲示物などを十七市町の選管に発送した。県選管の書記ら十五人が県庁前で、投票用紙など印



刷物約七十一万枚の入った段ボール百十一箱をトラック三台に積み込んだ。トラックは坂井と奥越、福井と丹南、嶺南の三方面に出発、各市町に届けた。国民審査で対象となる裁判官は五人。期日前投票は七日から受け付ける。

国民審査の投票用紙をトラックに積み込む選管ら＝県庁で

若者に投票呼びかけ
県選管が啓発活動

投票の啓発グッズを手渡すCEPTのメンバー

衆院選
2014

若向けのイベントでも啓発を行った。

14日に投票開票される衆院選で、県選挙管理委員会では5、6の両日、選挙離れが懸念される若い有権者に投票を呼びかける啓発活動を行った。

福井市今市町の県立音楽堂ハーモニーホールでは、県明るい選挙推進青年活動隊(CEPT)のメンバーがチラシとカイトを配布。6日は県立大3年の清水美晴さん(20)が演奏会に訪れた客に啓発グッズを手渡し、投票を呼びかけていた。

清水さんは「投票の呼びかけというのは、普通ではできない。CEPTに入っていて、いい経験ができました」とし、「投票日には必ず投票に行くつもりです」と話していた。

県選管は福井市宝永の県国際交流会館で開かれた若

買い物客らに
投票呼び掛け

県選管など

14日の衆院選の投票日を前に、県選管などは7日、福井、敦賀両市の量販店で街頭啓発活動を行った。両市で計2千枚のチラシを配り、買い物客らに投票を呼び掛けた。写真。福井市のエルパでは、県選管をはじめ県民の選挙推進協議会、県民の選挙推進青年活動隊（CEPT）のメンバーら29人が参加。CEPT

代表の唐崎航さんらが「14日投票日です」と声を掛けながら、0増5減に伴う福井県の新選挙区を紹介したチラシやクッキー、使い捨てカイロなどを手渡した。明るい選挙をPRする県独自のマスコット「めいすいサウルス」、2018年福井国体のマスコット「はぴりゅう」も参加し、子ども連れの投票を呼び掛けた。（新屋安弘）



12月9日 日刊県民福井



十四日の衆院選投票日を

選挙と最高裁判官審査公報 県選管各市町に発送

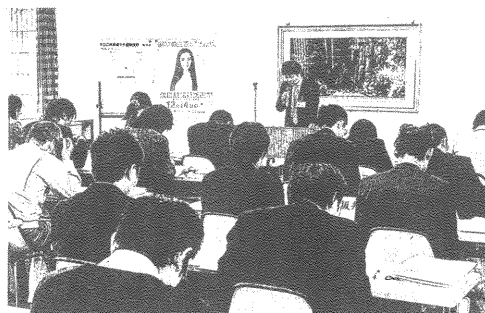
前に県選管は八日朝、選挙公報と最高裁判官国民審査の公報を各市町に発送した。選挙公報は小選挙区1区、2区と比例代表で候補者や各党の主張を掲載。新しい区割りの説明もしている。最高裁判官国民審査の公報では、裁判官が下した過去の主要な判例を載せている。県選管の職員十五人が公報を積み込み、四ノトラック五台が発した。自治体を通して計約九十三万六千部が各世帯に配られる。

12月10日 日刊県民福井

投票速報 会議で確認

県内選管職員

十四日の衆院選投票を前に、県と県内十七市町の選挙管理委員会は九日、県庁で投票速報の打ち合わせ会議を開いた。各選管職員ら約三十人が当日の流れを確認した。



県選管の職員から説明を受ける各市町の担当者＝県庁で

田橋孝書記長が「日がない中で大変ですが、引き締め準備と善い発表をお願いします」とあいさつ。区割り変更の周知や開票の正確性確保、迅速化を求めた。十二日にリハールを行い、万全を期す。（高橋雅人）

12月13日 中日新聞

HPで開票速報 職員ら手順確認

県選管

衆院選の開票日（十四日）を前に県選管は十二日、県庁でホームページ（HP）などで開票速報を伝えるリハールを実施した。県選管の職員二十人が参加。各市町から



投票日の手順を確認しながらリハールする県選管職員ら＝県庁で

アクセスで開票状況のデータが届くと、職員が、どの市町から届いたのかを明確にし、開票結果を「投票結果受信しました」と大声で知らせ、数字を確認する職員に連れた。数字の確認が終わると必要枚数をコピーし、表にまとめる職員に渡され、ホームページや報道陣への発表などの手順を確認した。リハールに先立ち、県選管の池田慎孝書記長は「まずは、正確に行うことが大事。迅速さも求められるが、一つの確認しながら進めてほしい」と職員らに呼び掛けた。（山内通朗）



投票箱の準備をする福井市職員。同市大手3の市立南小学校で

衆院選は14日投票開票される。選挙戦最終日の13日、県内2小選挙区の候補者6人は各選挙区で支持を訴えた。

14日は県内412の投票所で午前7時から午後8時まで投票を受け付ける。(一)

期日前投票は前回比12%増

部では終了時間を1〜2時間繰り上げ。午後9時以降開票され、小選挙区は同日深夜、比例代表は15日未明に大勢が判明する見込み。

県選挙管理委員会によると、3月15日の10日間にと計6万2992人が期日前投票した。

衆院選 きょう投票開票

票を済ませた。前回衆院選(2012年)の期日前投票の開始から10日間と比べると12・89%増

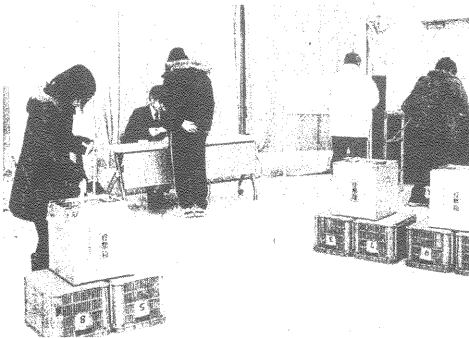
県内市町の選挙管理委員会は13日、各投票所で設営を実施。福井市大手3の市立南小学校体育館では正

各市町選管が投票所を設営

午から市職員5人が投票箱などを設置した。県選管の北川検査委員は「自らの自由な意思と判断によって、将来を託すにふさわしい候補者や政党に大切な一票を投じられるよう心から期待する」との談話を発表した。

【村山豪】

投票に臨む有権者ら一福井市手寄2の旭公民館で



今回の衆院選から15年、全国的に小選挙区を5つ減らす「0増5減」

投票率最低50・00%

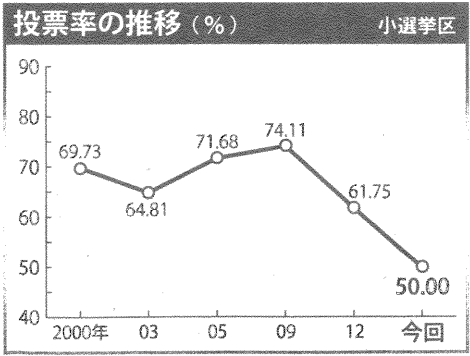
前回比11・75%減

市町別投票率	当日有権者数	投票者数	投票率(%)
市	214867	109942	47.02
市	29328	13703	46.73
市	20807	10824	51.99
市	24328	12717	52.27
市	24107	37231	50.24
市	15618	8755	56.06
市	378855	184272	48.64
市	54274	25926	47.77
市	24385	14751	60.51
市	54189	24770	45.72
市	65648	31722	48.32
市	2560	1518	59.30
市	9312	5859	62.92
市	18848	10775	57.17
市	8565	5063	59.13
市	8713	5213	59.83
市	9884	4730	47.75
市	13012	4139	31.81
市	266868	138571	51.92
市	645723	322843	50.00

表並立制が導入された1996年以降最少の6人。有権者の関心が高まるなかったことに加え、天候に恵まれなかったのも災いした。

「政権選択」が焦点となった09年は、98年以降最高の74・11%を記録。だが、自民党が圧勝した前回選は61・75%で過去最低だった。

一方、期日前投票には8万4168人が足を運び、前回の7万6307人を7861人上回った。当日有権者(64万2993人)に占める割合は13・03%(前回11・75%)だった。



衆院選

1票の格差全国提訴

本県など全295区「無効」

人口比例に基づかない区割りで「1票の格差」が最大2・13倍になった今回の衆院選は憲法違反として、二つの弁護士グループが15日、選挙の無効（やり直し）を求めて全国14の高裁・高裁支部に一斉提訴した。295の選挙区全（ついでに無効請求訴訟が提起されるのは初めて。求償には各地の高裁判決が出そろい、年末までに最高裁・大法院の統一判断が示される見通しだ。

0増5減も最大2.13倍

総務省が公表した12月14日の投票当日有権者数によると、議員1人当たりの有権者数が最も少ないのは宮城5区で23万1081人、最も多いのは東京1区の49万2025人だった。

全国一斉提訴をした井永英俊弁護士らのグループは提訴後の記者会見で「1票の価値は全ての選挙区で同じでなければいけない」と訴えた。広

最高裁に提訴した山口邦明弁護士らのグループは、年内に東京高裁や大阪高裁にも提訴する。

最大格差が2・43倍だった2012年の前回衆院選をめぐり全国訴訟では、各地の高

裁・支部で「違憲・無効」「違憲」の判決が相次いだが、昨年11月の最高裁大法院判決は「0増5減」の選挙制度改革案「連法成立を前進と評価し、違

憲状態」の判断にとどめた。

今回の選挙は0増5減で実施されたが、最高裁が過去2度にわたり否定した「1人別枠方式」は解消されておらず、これまでの国会の対応をどう評価するか、司法の判断が注目される。

訴訟では、投票価値の格差が入念にされれば選挙状態、国会が十分な期間があったのに格差を是正しなかったと判断されれば「違憲」判決になる。さらに選挙をやり直しても重大な混乱が生じる恐れが

衆院選1票の格差訴訟の経過

1976年4月14日	最高裁が最大格差4.99倍の72年選挙を違憲と判断
83年11月7日	最高裁が格差3.94倍の80年選挙を違憲状態と判断
85年7月17日	最高裁が格差4.40倍の83年選挙を違憲と判断
94年1月	中選挙区制度から小選挙区制度に移行
2011年3月23日	最高裁が「1人別枠方式」を否定し、格差2.30倍の09年選挙を違憲状態と判断
10月19日	選挙制度に関する与野党の協議会が初会合
12年2月25日	衆院選挙区画定審議会設置法に基づく区割り改定案の勧告期限。違法状態に
11月16日	0増5減を柱とする選挙制度改革案閣議決定が成立
13年3月28日	区画審が0増5減に伴い、格差を1.998倍に縮小し、17都府県42選挙区の区割りを見直す改定案を勧告
6月24日	区割りを改定する改正公選法が成立
11月20日	最高裁が格差2.43倍の12年選挙を違憲状態と判断
14年11月21日	衆院解散
12月14日	衆院選実施
15日	弁護士グループが295の全選挙区について、全国14の高裁・高裁支部に提訴

なければ最も厳しい「違憲・無効」判決になるが、最高裁が無効を言い渡した例はない。最高裁は最大格差が2・30倍だった09年の前々回選挙と12年の前回選挙の判決で、いずれも違憲状態と判断、各都道府

福井1区1.632、2区1.152倍

14日投票が行われた衆院選で、福井、石川、富山の計八つの小選挙区の無効を名古屋高裁金沢支部に求めて提訴した弁護士グループが15日、金沢市内で記者会見した。2009年衆院選を「違憲状態」とした11年3月の最高裁判断から今回の選挙までに3年9カ月が経過していると指摘、「格差を是正する期間は十分あった」と述べた。

県に1議席を無条件に割り振る、残りの議席を人口比例で配分する「1人別枠方式」の見直しを国会に強く求めている。公選法は国政選挙の効力に関する訴訟の一審を高裁と規定している。

訴訟によると小選挙区間の格差は、昨年9月2日現在で議員1人当たりの有権者数を全国最少の宮城5区と比べ、福井1区が1・632倍、2区が1・152倍、倍で1票の価値は0・61票、福井2区が1・152倍、1票の価値は0・87票であるという。

会見した井上拓弁護士（東京）は、「0増5減」について「格差が2倍に収まるよう